

第8回ヒロシマ賞受賞記念 オノ・ヨーコ展

希望の路

YOKO ONO 2011

2011年7月30日(土)～10月16日(日)

被爆地ヒロシマから「ヒロシマの心」を～ヒロシマ賞

世界最初の被爆地である広島市は、世界の恒久平和と人類の繁栄を願う「ヒロシマの心」を美術を通して世界へ訴えることを目的とし、1989年に「ヒロシマ賞」を創設しました。広島市現代美術館ではその第8回目の受賞者となったオノ・ヨーコの受賞記念展を開催します。

とどまることのない、新しい芸術表現の創造

1933年に東京で生まれたオノ・ヨーコは、半世紀以上にわたる前衛芸術家としての創作活動を通じて、視覚芸術、パフォーマンス、音楽、フィルム、詩などの多様なメディアを駆使しながら、芸術の境界を広げてきました。人々の想像力に働きかけ、観客が実際に作品の制作に参加することを目的としたその作品は、1960年代以降の現代美術の潮流のひとつであるコンセプチュアル・アートの先駆的な表現として高く評価されています。その後も絵画や彫刻など特定のジャンルにとどまることなく、芸術表現の新しい形を創造し続けています。

「愛と平和」のメッセージの発信

また前衛芸術家としての活動に加え、平和運動にも積極的に関わり、1969年のジョン・レノンとの結婚前後から、共同で数々の平和のためのイベントや反戦キャンペーンを行い、彼らのメッセージは、1970年代に地球規模で広がった国際的な平和運動を代表するシンボルとなりました。そして、ジョン・レノンの死後も、一貫して「愛と平和」のメッセージを発信し続けています。

鎮魂と未来への希望～ヒロシマ・ナガサキ、そして東日本大震災

人類がその歴史のなかで体験した最大の悲劇のひとつであるヒロシマとナガサキ。そして多くの人が被災し命を落とした先の東日本大震災。

展覧会は、これらの悲劇を経験した人々に対する鎮魂と、未来への希望の路を指し示す新作のインスタレーションを中心に、オノ・ヨーコのメッセージを世界に向けて発信するものです。

展覧会

- 【会期】 2011年7月30日(土)～10月16日(日)
- 【開館時間】 10:00-17:00 ※入場は閉館30分前まで
- 【休館日】 月曜日 ※ただし祝休日に当たる場合は開館し、翌平日休館
- 【観覧料】 一般 1,000(800)円、大学生 700(600)円、高校生 500(400)円  
※小中学生、65歳以上は無料、  
※( )内は前売りおよび30人以上の団体料金
- 【主催】 広島市現代美術館、朝日新聞社
- 【後援】 広島県、広島市教育委員会、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、尾道エフエム放送



オノ・ヨーコ  
Photo ©Synaesthete 2009



《天井の絵／イエス (YES)・ペインティング》1966年 エルサレムのイスラエル美術館での展示風景、2000年  
Photo by Oded Lobl ©Yoko Ono



ジョン・レノンとオノ・ヨーコ《戦争は終わった!》1969年 ニューヨークのタイムズ・スクエア

## オノ・ヨーコの来広について

### 原爆死没者慰霊碑への献花

広島平和記念公園の慰霊碑にオノ・ヨーコが献花。犠牲者に鎮魂の意を表します。  
日時／7月29日（金）午前中 ※時刻等詳細は要問い合わせ

### 展示内覧および記者会見

展示をご覧いただいた後、オノ・ヨーコによる記者会見を行います。  
日時／7月29日（金） 内覧：13:00～14:00、記者会見：14:00～15:00

### 第8回ヒロシマ賞授賞式

日時／7月29日（金）18:00～  
会場／広島市現代美術館  
※出席は招待者となります。

● 上記3件について取材を希望の方は、美術館・広報担当までご連絡ください。

## 展覧会関連プログラム

### オノ・ヨーコ レクチャー&パフォーマンス「希望の路」

一夜限りのスペシャル企画！オノ・ヨーコによる特別イベントです。  
日時／7月31日（日）18:30～  
会場／広島市現代美術館 エントランスホール  
定員／約200名 ※無料、要事前申し込み  
参加方法／Eメールまたは往復はがきに、住所、氏名、電話番号を記入し、以下宛先までお申し込みください。※締切：7月20日（水）必着、1通につき2名まで応募可。申し込み多数の場合は抽選とし、結果は7月25日頃までにお知らせします。  
(Eメール) hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp  
(往復はがき) 〒732-0815 広島市南区比治山公園 1-1  
※詳細についてはお問い合わせください。当館ホームページでも情報掲載します。

### キッズ・ツアー お話しながらオノ・ヨーコ展を観よう！

みんなで作品についてお話しながら展覧会を観て回ります。  
日時／8月20日（土） 小学1～4年生の回：11:00～12:00  
小学5年生～中学3年生の回：14:00～15:00  
※事前申し込み不要、参加無料、会場入口に集合

### オノ・ヨーコ作品・パフォーマンス映像上映会

オノ・ヨーコの《フライ》など3作品と、《ベッド・イン》などのパフォーマンス映像を上映します。  
日時／9月11日（日） 映像作品上映(3作品)：10:30～  
パフォーマンス映像上映：14:00～  
※事前申し込み不要、入場無料、途中退場可

### 学芸員によるギャラリー・トーク

日時／8月6日（土）、10月1日（土） 各回とも14:00～15:00  
※展覧会チケットをご用意の上、会場入口にお集まりください。



オノ・ヨーコと《ウィッシュ・ツリー（願かけの木）》2008年 リヴァプールのブルーコート・アーツ・センターでの展示風景



オノ・ヨーコによるパフォーマンス《ソプラノのためのヴォイス・ピース》1961年 Courtesy of Lenono Photo Archive



オノ・ヨーコとジョン・レノン《ベッド・イン》モントリオール、1969年 Photo by Ivor Sharp ©Yoko Ono

## コメント (オノ・ヨーコ)

### 人類の叡智の力を信じましょう

1945年のヒロシマとナガサキの原爆の悲劇は、繰り返すことが許されない最大の悲劇でした。そして、66年後の今、原爆の暴力の犠牲になって苦しんでいる人たちが、まだまだ、たくさんいるのです。それほど、原爆が人類に与える被害は深刻で、過酷なのです。

それが、この2011年3月11日に自然の力による大地震と大津波という形で、また原子力の悲劇が繰り返されています。

それでも日本は、すさまじい科学の発展とあなたをはじめ多くの人々の努力で完全な回復を行い、いつか必ず立ち直ってみせるのです。そして、世界にもまだないような環境問題を解決した新しい国を建設する叡智と勇気を持っているのです。

それは、いざという時に、意識の奥から出てくる超能力の働きなのです。超能力は念願だけで山を動かすこともできる凄い力です。

人類は今、その叡智の力でひとりひとり、超能力を引き出さなければならないときにきています。

そのことをヒロシマとナガサキから日本の若者に、そして、世界の人々に大至急、伝えなくてはならないのです。

なぜなら、この度の原発の悲劇は単に日本の問題ではなく、世界の国々の問題でもあるからです。私たち日本人が自分たちの力に頼って、新しい出発をするとともに、世界にもその力をおすそ分けする義務があるのです。

叡智の力と超能力を発揮して一緒に世界を救いましょう！

ありがとう。

私の愛があなたの超能力を引き出す力になってくれることを祈って。

2011年夏

オノ・ヨーコ



《ウィッシュ・ツリー (願かけの木)》  
2008-2009年 イギリス・ゲーツヘッド  
のバルティック現代美術センターでの展  
示風景 Courtesy of Yoko Ono



《白のチェス・セット》1966年  
ロンドンのインディカ・ギャラリー  
Photo by Iain Macmillan ©Yoko Ono



《マイ・マミー・イズ・ビューティフル (メモリー・ウォール)》2004年 リヴァプール・ビエンナーレでの展示風景 Photo by David Lambert and Rod Tidnam Courtesy of Yoko Ono

## ヒロシマ賞について

### 主旨

美術の分野で人類の平和にもっとも貢献した作家の業績を顕彰することを通じて、広島市の芸術活動の高揚を図るとともに、「ヒロシマの心」を広く全世界にアピールし、人類の繁栄に寄与する。

合わせて、この賞を受賞した作家の展覧会を開催して芸術の発展に寄与し、ヒロシマ賞の意義を高める。

### 選考の基準と選定方法

#### <基準>

- ・美術の分野（平面、立体、映像、デザイン、建築等）で評価の高い活動を行っている個人あるいはグループ。
- ・ヒロシマの心にふさわしい制作活動を行っている個人あるいはグループ。
- ・美術館で単独の展覧会を開催する意義がある個人あるいはグループ。
- ・国籍、年齢は問わない。

#### <選定方法>

世界各地の美術館長、美術評論家等で構成する「推薦委員」と、過去の受賞者からなる「特別推薦委員」から推薦された作家等を取りまとめ、国内の美術館長、美術評論家等で構成する「選考委員会」で絞り込みを行う。

その結果をもとに、有識者、美術専門家等で構成する「組織委員会」で、受賞候補者を決定する。

◎第8回ヒロシマ賞組織委員：秋葉忠利（広島市長）、大井健次（広島市立大学芸術学部教授）、大田哲哉（広島商工会議所会頭、広島電鉄株式会社代表取締役社長）、岡部あおみ（武蔵野美術大学教授）、酒井忠康（世田谷美術館館長）、妹島和世（建築家、妹島和世建築設計事務所）、高木一之（広島信用金庫会長、公益財団法人ひろしま文化振興財団理事長、広島経済同友会代表幹事）、高階秀爾（大原美術館館長、西洋美術振興財団理事長 ※組織委員長）、原田康夫（広島市現代美術館館長）、原田佳子（広島女学院大学名誉教授）、部谷京子（映画美術監督）

※職名は2010年7月当時のもの

### 過去の受賞者

- 第1回（1989年決定）三宅一生／デザイン
- 第2回（1992年決定）ロバート・ラウシェンバーグ／美術
- 第3回（1995年決定）レオン・ゴラブ&ナンシー・スペロ／美術
- 第4回（1998年決定）クシュシトフ・ウディチコ／美術
- 第5回（2001年決定）ダニエル・リベスキンド／建築
- 第6回（2004年決定）シリル・ネシャット／美術
- 第7回（2007年決定）蔡國強／美術



第1回ヒロシマ賞受賞記念  
三宅一生展 1990年  
関連事業「ファッション・ショー」より



第4回ヒロシマ賞受賞記念  
クシュシトフ・ウディチコ展 1999年  
関連事業「パブリック・プロジェクト  
ション、ヒロシマ」より



第5回ヒロシマ賞受賞記念  
ダニエル・リベスキンド展 2002年  
《ベルリン・ユダヤ博物館》



第7回ヒロシマ賞受賞記念  
蔡國強展 2008年  
《無人の花園》

広島市現代美術館

(ヒロシマ賞・展覧会担当：洲濱、神谷 広報担当：越智、後藤、鈴木、立花)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/ 082-264-1121(掲載用)・082-264-1146(学芸直通) FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp



Hiroshima MOCA  
Hiroshima City Museum of Contemporary Art